

アル・アクサ洪水第596日目：ガザを襲う虐殺と飢饉 | ガザ戦争をめぐりイスラエルで深まる分裂

Palestine Chronicle, 2025年5月24日、協浜義明訳 *脚注は訳注



イスラエルはガザでの虐殺を続けている。(Photo: via QNN)

主要事項

- * イスラエルのガザ回廊虐殺が続き、女性と子どもを含む数十人のパレスチナ人が死亡した。
- * イスラエル・メディアの報道によれば、クネセト（イスラエル議会）で、リクード党のアミット・ハレヴィ議員がイスラエルはハマスを制圧できないと発言したために、彼とイスラエル・カッツ国防大臣の間で論争が起きた。
- * ガザ保健省によれば、2023年10月7日から続いているイスラエルのガザ攻撃で53,901人が死亡し、122,593人が負傷した。

最新情報

5月25日 12:33am (パレスチナ時間)

* ハアレツ：ハアレツ紙の調査によれば、先週のイスラエルの攻撃でガザ回廊では約10の病院と診療所が直接攻撃や巻き添えで損傷した。

5月24日 10:44pm

* パレスチナ・クロニクル：元パレスチナ人囚人のタラル・アル・ザアニーンは、イスラエル占領軍はガザ回廊北部の軍事作戦で彼や他のパレスチナ人囚人を人間の盾に使ったと証言した。この証言は、イスラエル軍がこの人間の盾戦術を組織的に使っていることを記録したAP通信が発表した記事に含まれている。

5月24日 10:43pm

*イスラエル・ハヨム紙：イスラエル当局は支援プログラムの実施は遅れており、明日に開始されないと発表した。これは通常の支援物資配給の中止ではないと付言した。

*アル・ジャジーラ：ハーン・ユニスのクウェート野戦病院は、子ども、妊婦、高齢者用の栄養補助食品と医薬品が枯渇したと発表した。また、患者と医療スタッフの食料が欠乏し、医療活動に支障が出ていると述べた。

*イスラエル・メディア：イスラエルの右翼とネタニヤフ首相支持派は、イスラエル兵が趣味としてパレスチナ人の子どもを殺害していると言った予備役将軍ヤイル・ゴランの処刑を求めるビラを撒いた。

5月24日 7:27 pm

*パレスチナ・クロニクル：わずか11歳の少女ヤキーン・ハマドはガザで最年少のメディア活動家であり、地域の慈善団体のボランティアであった。彼女は年齢を超えた知恵を発揮して恐怖と不安で圧倒されたところに希望の光をもたらしていた。しかし、昨日の夜、イスラエル軍のデイル・アル・バラフへの空爆で彼女の声が黙らされた。彼女は瓦礫に埋もれて死んでしまった。

*アル・ジャジーラ：イスラエルの拘禁されていた元囚人のタラル・アル・ザアニーはアル・ジャジーラに次のように語った。イスラエル軍は彼に学校を探させ、クアッドコプターで彼を運び、学校や建物に入るとき彼を人間の盾に使った。レジスタンスが仕掛けた爆弾の信管を外せと強要され、ぐずぐずしていると殴打された。彼の逮捕は非人道的な状況のもとであった。

*カン：ベザレル・スモトリッチ財務大臣はSNSで賞賛して貰おうと、インフルエンサーに数千シェケルを支払っていた。

*世界食糧計画(WFP)：70,000人以上のガザの子どもがひどい栄養失調状態にある。何とか機会を見つけてはガザの食料を持ち込んでいるが、とても十分な量ではない。飢饉を避け人命を救うために早急で、安全で、制限されない食料のガザ搬入が必要だ。

*チャンネル12：多くのイスラエル人に奇妙な匿名電話がかかっている。囚人の恐怖の悲鳴や、多分軍の襲撃と思われる爆弾の音を録音した電話で、国民の感情を操作してパニックを煽ろうとする怪電話である。

*ガザ市民団体：ガザ回廊の市民団体は米国の新たな援助物資配布メカニズムに対応できる地元あるいは国際的団体はないと述べた。米国の援助物資配布メカニズムは「治安志向」で、治安のための食料援助という概念が突出していると言った。

5月24日 4:52 pm

*ガザ政府メディア・オフィス：必須栄養素不足による流産が300件あった。他に、栄養失調による死亡58人、食料と医薬品不足による死亡242人、栄養と治療がないために死亡した腎臓病患者26人。

*アル・ジャジーラ：ガザ回廊北部のビル・アン・ナアジャ地区へのイスラエル軍の砲撃で2人が死亡、数人が負傷した。

*アル・ジャジーラ：イスラエル軍はハーン・ユニス市の東にある町アバサン・アル・ジャディーダを空爆と砲撃で猛攻撃している。

5月24日 2:53 pm

*UNRWA：UNRWAのフィリップ・ラザリーニ事務局長はイスラエルが提案し米国が支持している新たな人道支援計画は成功しないと思うと言った。「この新提案は人道支援ではなく、軍事的目的と動機で造られたものだ」とラザリーニが述べた。

*ガザ保健省：2023年10月7日以降の犠牲者は、死者53,901人、負傷者122,593人となった。2025年3月18日のイスラエルの停戦破りの攻撃による犠牲者は、死者3,747人、負傷者10,552人である。

*アル・アクサTV：ガザ市東部のアットゥファーフ地区のアッサナフィール交差点付近の住民集団へイスラエル軍は砲弾を浴びせ、4人が死亡、数人が負傷した。

5月24日 1:41 pm

*ガザ保健省：今日明け方からのイスラエル軍のガザ回廊への砲撃で30人のパレスチナ人が死亡した。(この統計には情報アクセス困難のため、ガザ回廊北部の病院の犠牲者を含んでいない)

*チャンネル12：キルヤット・アルバ入植地付近でイスラエル兵1人が刺されて重傷を負った。死傷実行犯の若いパレスチナ人は射殺された。

*アル・ジャジーラ：イスラエル無人機がガザのアッサフタウィ地区を襲い、パレスチナ人1人が負傷した。

*ワシントンポスト：ワシントンポストの調査で、イスラエルが提案し米国政府が支持しているガザへの新人道支援メカニズムは、実際には実施困難で、多くから疑問視されていることが判明した。この支援メカニズムはガザ住民を南（エジプト）へ移住させるように仕組まれたもので、イスラエルの民族浄化キャンペーンの推進であると、ワシントンポストの調査は断定している。この計画作成に関わった人々は、支援物資配給所までパレスチナ人を数時間も歩かせるように組まれているので、倫理的懸念を表明している。イスラエル軍の元情報部長は新メカニズムは機能しないであろうと言った。いろいろ問題がある計画だが、米国のトランプ大統領が計画提案の顔になっているので、イスラエルは一息ついている。

*アル・アクサ・サテライトチャンネル：ガザ市東部のアットゥファーフ地区のアル・サナフィール交差点でイスラエル軍が住民集団を砲撃し、4人が死亡し、多数が負傷した。また、占領軍の航空機がガザ地区中央部のデイル・アル・バラ市にアル・マシヤラ地区を襲撃した。

*トゥールカルム広報委員会声明：イスラエル占領軍はトゥールカルム市とその難民キャンプを118日間連続攻撃しており、また、ヌール・シャムス難民キャンプを105日間連続攻撃を続けており、軍事行動とパレスチナ人逮捕を拡大している。ここ数時間、占領軍は都市への攻撃を拡大し、占領軍はトゥールカルムとヌール・シャムスの両難民キャンプからの避難民がいるアル・ヤスミン・ホールを襲撃して、多くを逮捕した。またトゥールカルム市のアナブタ、バザーリヤ、カフル・アル・ラバドを含むいくつかの町を襲撃し、検問所を設置し、通行する車を停止させ、乗員を降ろして尋問し殴打した。占領軍は両難民キャンプから4,200世帯以上、25,000人を強制避難させた。帰ろうとすると逮捕された。400戸以上の家を解体し、2,573戸の家を部分破壊した。両難民キャンプの入口に土を盛って通行止めにした。

過去の期間に、占領軍はヌール・シャムスのキャンプの主要地区の住宅建物の取り壊しを開始し、アパートを含む20軒以上の建物に影響を与え、隣接する建物にも損害を与えた。これは、トゥールカルムとヌール・シャムスのキャンプ内の106棟の建物を取り壊し、道路や地形を開放し、地形を変えろという占領軍の計画の一環である。トゥールカルム市とその二つのキャンプに対する占領軍の侵略と継続的なエスカレーションは、数十人の負傷と逮捕に加えて、子どもと二人の女性を含む13人の市民の殉教をもたらした。そのうちの一人は妊娠八ヶ月であった。また、インフラ、家屋、店舗、車両が完全にまたは部分的に取り壊され、焼かれ、破壊され、略奪され、盗まれた。

*チャンネル12：キルヤット・アルバ入植地近くでの刺殺作戦でイスラエル兵士が負傷し、この作戦を実行したと疑われている若いパレスチナ人男性が死亡したことを確認したと報じた。一方、イスラエル占領軍は、「ヨルダン川西岸地区南部のヘブロン近くでの刺殺作戦の報告を受け、我々の部隊は犯人に発砲した」と述べた。

*アルジャジーラ：ガザのアル・サフタウィ地区でイスラエルの無人機による攻撃で負傷者が出た。

*アル・ジャジーラ：スペインのペドロ・サンチェス首相はガザの現状を耐え難いと言って、スペインは黙っていないと述べた。彼は「沈黙と無関心は我々の選択肢ではない。我々はあからさま国際法違反に反対する声を上げ続ける」と付言した。

*パレスチナ・クロニクル：スペインのサンチェス首相は、イスラエルへの武器禁輸や外交的圧力など、これまでの欧州のイスラエルに対する姿勢の変化を推進しているが、これは本当の転換なのか、それとも単なる象徴的ジェスチャーなのか？ ジョン・マコーリーの記事を読みたい。[\(John McAulay, "A Unique Opportunity": What the EU Can Learn from Spain's Increasing Pressure on Israel", Palestine Chronicle, May 24, 2025\)](#)

5月24日 12:22pm

*チャンネル12：ネタニヤフ首相の強硬姿勢とドーハから交渉団を引き揚げたにもかかわらず、安全保障機関内には人質解放でハマスと合意できる可能性があるというコンセンサスがある。匿名の情報筋の話では、エヤル・ザミール参謀総長が、非公開会議で、軍事的圧力で人質返還に有利な条件が生まれているので、この機に乗じてハマスとの交渉を進めるべきだと述べたと言われる。

*AP 通信：AP 通信は「ブレイキング・ザ・サイレンス」¹を引用し、イスラエル軍がパレスチナ人を人間の盾に利用してきたことを元兵士たちが証言したと報道した。この組織は、元兵士たちの証言は偶然の単発的出来事ではなく、軍の構造的な道徳的墮落を表していると強調した。

*アル・ジャジーラ：イスラエル軍のガザ市東のアットゥファーフ地区への空爆で3人が死亡し、数人が負傷した。

*アル・ジャジーラ：クネセト議員のオフエル・カシフが「我々は死と拒否だけを提供する政府に抵抗しなければならない。我々は独裁者の手先にはならない」と言った。さらに、彼は「人質全員の即時釈放につながる交渉テーブルがある」と述べ、「ネタニヤフはあらゆる解決策を潰す」と非難した。

*パレスチナ・クロニクル：ガザの小児科医アラア・アル・ナジャル医師が勤務中に、自分の子ども9人の遺体——イスラエルの空爆で殺害——が運び込まれてきた。

5月24日 11:46am

*アル・ジャジーラ：ガザ医療救済局責任者はガザ回廊の保健、水、食料の状況が非常に厳しいとアル・ジャジーラに語った。戦争前は1日間に500台の救援トラックが入っていたのに、今は3日間で92台のトラックしか入ってこないと言った。

*イスラエル・メディア：イスラエルの大統領とクネセトの安全保障委員会の委員長の家の前で、捕虜交換交渉を要求するデモが行われている。

*アル・ジャジーラ：ヒンド・ラジャブ財団は、イスラエル兵に対する戦争犯罪告訴をペルーの裁判所に行い、裁判所が調査を開始したと発表した。このイスラエル兵は工兵隊に所属して、ガザの住宅の組織的破壊に加担した。

*アル・ジャジーラ：イスラエルの手の込んだ操作により、ガザに搬入される援助物資は非常に僅かである。

*ガザ保健省：今日明け方からのイスラエル軍のガザ回廊砲撃で11人のパレスチナ人が死亡した。

*アル・ジャジーラ：イスラエル軍はアル・アウダ病院付近を砲撃、破片が病院の中庭に落下した。

*アル・ジャジーラ：イスラエル軍はハーン・ユニス市西の民家を空爆している。

*イエディオト・アハロノト：リクード党議員のアミット・ハレヴィは、「我々は間違った計画で20か月間戦争をしてきた。イスラエルはハマスを負かすことができない」と言った。さらに、彼は「これまで我々はあらゆる戦争で敵をやつけることができたが、今はハマスを制圧できない」と述べ、これは「欺瞞の戦争」だと言った。「政府は成果を達成したと我々にウソをついてきた」と述べた。

*イエディオト・アハロノト：クネセトでリクード党のアミット・ハレヴィとイスラエル・カッツ国防大臣の間で論争があったと消息筋が伝えた。消息筋によれば、ハレヴィ議員は国防相に「お前は何も理解していない」と言い、ハマスをせん滅する可能性を表す計画がないと非難し、国防相はハレヴィが「ヤイル・ゴランと同じになった」とリクード党議員たちに言った。

5月24日 8:09am

*国連事務総長：アントニオ・グテーレス国連事務総長はイスラエルのガザ戦争を非難し、ガザ回廊のパレスチナ人はこの残酷な戦争の中で最も残酷な局面にあると言った。グテーレスはイスラエルが軍事攻勢を強化し、パレスチナ人はこの残酷な戦争の中で最も残酷な局面に直面していると言った。イスラエルの攻撃は死と破壊だと断じた。また彼は、ケレム・アブ・サレム国境通路からガザへ入ることを許可された約400台のトラックのうち、救援物資を積載したトラックは115台だけだと言った。グテーレス事務総長は、大量の救援物資搬入が必要とされる切迫した状況なのに、ガザ流入を許されたのは必要な量のほんの一部に過ぎないと言った。

¹ 2004年に退役軍人によって設立されたNGO。